

学位論文審査の結果の要旨

1. 申請者氏名	瀧井 綾子
2. 審査委員	主査：（兵庫教育大学 教授） 伊藤 大輔 副主査：（兵庫教育大学 教授） 海野 千畝子 委員：（兵庫教育大学 教授） 佐田久 真貴 委員：（鳴門教育大学 教授） 古川 洋和 委員：（兵庫教育大学 教授） 池田 浩之
3. 論文題目	社会的養護施設における効果的な入所児養育を目指した初任者支援プログラムの開発
4. 審査結果の要旨	<p>論文提出による学位申請者瀧井綾子氏 から申請のあった学位論文について、兵庫教育大学学位規則第16条に基づき、下記のとおり審査を行った。</p> <p>論文審査日時：令和8年2月19日（木） 13時30分～14時30分 場 所：オンライン</p> <p>1. 学位論文の構成と概要</p> <p>(1) 構成</p> <p>第1章 本研究の背景と目的 第2章 研究Ⅰ：社会的養護施設職員の養育行動尺度の開発 第3章 研究Ⅱ：社会的養護施設初任職員支援プログラム内容の理論的検討 ー初任職員の入所児養育に対する効力感向上要因の検討ー 第4章 研究Ⅲ：社会的養護施設初任職員支援プログラム内容の方法論的検討 第5章 研究Ⅳ：社会的養護施設初任職員支援プログラムの効果検討 第6章 総合考察</p> <p>(2) 概要</p> <p>本研究の目的は、社会的養護初任職員を「社会的養護関連施設での職務経験年数が5年未満の直接処遇職員」と操作的に定義した上で、初任職員の入所児養育に対する効力感を向上させる支援プログラムを開発することを目的とした。</p> <p>第1章では、本邦における社会的養護の現状を概観し、入所児支援体制の課題を整理した。</p> <p>第2章では、社会的養護施設職員の養育行動を包括的に測定する尺度を開発し、その信頼性と妥当性を検討した。</p> <p>第3章では、初任職員の入所児養育に対する効力感向上に寄与する知識やスキルについて、調査研究にて検討を行った。</p> <p>第4章では、第3章の知見を基にパイロット版プログラムを構成し、その内容の妥当性および操作可能性を確認するため、社会的養護施設の一種である児童心理治療施設一施設において予備的介入を行った。</p> <p>第5章では、研究Ⅱおよび研究Ⅲの結果を統合し、①認知編、②行動編、③トラウマ編からなる2日間のワークショップ型プログラムを作成し、児童心理治療施設3施設において実施した。</p> <p>第6章では、これらの結果を統合し、総合考察を行った。</p>

2. 審査経過

(1) 審査概要

瀧井氏の論文概要についての口頭発表が行われ、各審査委員から論文内容についての質疑、それらへの瀧井氏の応答を経て、審査委員会による審査が行われた。

(2) 学位論文の独創性と発展性について

本論文は、社会的養護初任職員の中でも、初任職員の入所児養育に対する効力感を向上させる支援プログラムを開発し、その効果を実証的に示した点が独創的である。また、社会的養護施設職員の養育行動を包括的に測定する尺度を開発されたことで、効果的な支援を提供するために必要な実証的な研究知見の蓄積が可能となり、今後の研究領域の発展に寄与する。

(3) 学校教育の実践への貢献あるいは社会的貢献

本論文において、社会的養護施設職員に対する心理的アプローチが効力感を向上させることを示した知見は、医療・福祉領域におけるアセスメントや支援に関する臨床応用のみならず、子どもの心身の健康のマネジメント教育に活かすことができる。

3. 審査結果

以上により、本審査委員会は 瀧井綾子氏 の提出した学位論文が博士（学校教育学）の学位を授与するにふさわしい内容であると判断し、全員一致で合格と判定した。